



岡田かつやプロフィール
1953年生まれ、54歳。東大卒業後、通産省を経て、36歳で衆議院議員に初当選。一貫して「政権交代ある政治」の実現を目指し、民主党政調会長、幹事長、代表などを歴任。現在、党副代表・衆議院予算委員会筆頭理事。当選6回。



熱 MOVING NOW! 論

岡田かつやインタビュー

前回の参議院選挙で勝利を果たし、参議院での第1党となり政権交代へ向けて大きく前進した民主党。次の総選挙で政権交代を実現する、大きなチャンスを迎えています。「今が、最大のチャンスであり、最大の正念場です」と語り、総選挙に向けて、全力で活動している岡田克也氏に、その揺るぎない信念と、政権交代に向けての熱い思いを伺ってみました。

インタビュー
■高橋和代さん
桑名市出身、FM三重・三重テレビなどのパーソナリティ、レポーターを始め、さまざまなイベントの司会などで活躍している。また、一見の母として、子育て奮闘中でもある。母として、働く女性として、政治を身近な問題として考えていきたいと語る。



直球、健在。 政権交代に向けて 岡田かつやが 熱い思いを語る!

政治家を志した時からの 変わらない信念

高橋 新しいスローガンが「直球、健在。」ということで、岡田さんが政治家を志した時からの「変わらない信念」をストレートに表現した言葉だと思うのですが、私も直球で(笑)お話を伺わせていただきたいと思います。まず、なぜ政治家を目指したのかをお聞かせいただけますか。

岡田 私はもともと国家公務員という、極めて国政に近いところで仕事をしていたのですが、政治のレベルを上げなきゃいけないと強く思ったことが最大の理由です。本来、霞ヶ関の官僚というのは政治家である大臣を支えるのが仕事です。現実には、政治家が官僚にのっかっているだけで、重要な意思決定に参加していないことが多いですね。国民から選ばれた政治家が自らリーダーシップを発揮していかなければならないものを感じたのです。

高橋 日本の政治を変えていくためには自分自身が政治家にならなければ、という思いがあったわけですね。

岡田 強い気持ちで、日本に国民の立場に立った新しい政治を定着させたい、そう思いましたね。

高橋 岡田さんにとってあるべき政治というのは、どういったものですか。

岡田 日本の政治の一番の問題は、競争がないということです。つまり政権交代がないということなんです。野党はずっと政権を取る意欲がなかった。しかし、私が議員になった頃から変わってきました。細川政権ができ、そして本格的に政権を目指す政党として、10年前に民主党ができました。各政党が政権を目指して切磋琢磨する中で、政治の質が上がってくるのです。私は政権交代ある政治を目指しています。

高橋 岡田さんが自民党と決別されたのは、何か自民党に対しての限界みたいなものを感じられたのですか。

岡田 私は自民党の中でずっと政治改革、政権交代ある政治を主張してきました。でもやっぱり変えたくないというのが多くの意見だったんですね。時代に対する危機感もない。この党では変えることができないと思ったことがひとつ。もうひとつは複数の政党があつてこそ政権交代ある政治が実現するので、自民党以外にもうひとつ政権担当能力のある党をつくり上げようというのを誰かがやらなければならないと思いました。じゃあ、自分たちがやろうと思ったわけです。



1992年 自民党総務会で政治改革法案廃案決定を阻止するために亀井静香代議士らとみ合ふ。6月に自民党を離党し新進党結成に参加。

現在の日本の政治と 民主党の課題

高橋 政治に対する信念を貫きたいということですね。今、私たちの身近なところで、たくさんの政治に関わる問題が噴出しています。現在の政治の中で一番大きな問題は、どういったことでしょうか。

岡田 それは、政権交代がまだ実現していないことですね。先の

参議院選挙で与野党が逆転し、あと一步のところまできているわけですが、次の総選挙で政権交代を実現させることで、日本の政治が大きく変わると確信しています。

高橋 その一番重要な政権交代を実現していくために、民主党としてどんな課題があるとお考えですか。

岡田 この10年間、さまざまな政策を作り、霞ヶ関で作った自民党の政策とは違うものを打ち出してきました。たとえば年金をはじめとする社会保障制度、農業も戸別所得補償方式という今までに全くない政策を出してきました。今、民主党はしっかりした政策を出すこともできる、そして人材も育ててきました。後は選挙で勝たなければいけません。そういう意味で日常活動をしっかりとやって、選挙に勝つためのパワーを持つことが今一番必要だと思っています。

高橋 今、皆さんの支持も民主党に集まってきたように思うんですが、どう思われていますか。

岡田 それがそう甘くないんですね。小沢代表が言われたように、次の総選挙で政権交代をするというのは簡単なことではありません。300の小選挙区の中で、151以上勝たなければなりません。三重県も選挙区は5つありますが、今2議席しかないわけですね。これを増やさないといけないわけで、よほどの努力が必要だと思っています。そのためには、議員一人ひとりが国会の中だけでなく、日常活動の中でも必死で活動していくことです。日々の日常活動というのは、私たちにとって活動の原点ですから、特に若い議員に求めたいですね。

日々の活動、三つの柱 地元・国内・海外

高橋 そうですね。そうした日々の日常活動がとても大切だと思います。岡田さんの場合は、全国を隅々まで回ったり、海外視察をしたりと精力的な活動をされていますが、特に地元での活動、各地区での小さな座談会なども大切にされていますね。

岡田 代表を辞めてから座談会を再開しまして、300会場ほどやってきました。8,000人くらいの方々に参加していただきました。これは、直接皆さんの声を聞くいい機会なんです。私だけが話すのではなく、皆さんに意見を言ってもらいたいです。議論のやりとりをするということです。その中で、何が政治に求められているのか的確に分かります。すごくいい意見が多いんですよ。国会で議論しているより勉強になります。(笑) それと、若い人に成長してもらいたいという気持ちから、全国

各地をずっと回っています。当選回数少ない議員や候補者のところを、年内に40人くらいは回ることにしたいと思います。それぞれの地元でお話をさせていただいて、日常活動のやり方とか私なりの考えをお話して、ぜひ力を付けていただきたいと思っています。それともうひとつは海外ですね。海外も現場主義ということ、代表の時にに行けなかったケニアやイラン、ミャンマーなどを視察してきました。海外の政治家に会うというより、そこに住む人々の生活を見るという方針です。

高橋 地元からグローバルな問題まで、日々の日常活動を大切にされている岡田さんが、長い目で見て政治家として取り組んでいく重要な課題はどんなことなのでしょう。

岡田 地域のこと、日本のことはもちろん重要ですが、同時にグローバルな問題についても、きちんと発信できる政治家でありたいと思っています。地球温暖化の問題は、世界の代表的な政治家にとって最も重要な課題と言っても、言い過ぎではないと思います。日本での関心はまだ一歩といったところがありますが、次の世代のためにも日本の政治家としてこれからは取り組んでいってほしい大きな課題だと思っています。国内の問題としては、大きな構造改革の必要性ですね。小泉さんの言葉で色褪せてしまいましたが、やはり30年、50年先の日本を考えると、今変えなければいけないことがたくさんあります。財政赤字、環境問題、社会保障制度の立て直し、そういった大きな改革。そして格差の問題ですね。三重県でも南と北ではずいぶん違いますし、東京と地方では違う。個人の間での格差も拡大しています。これら地域、個人の間での格差問題も重要なテーマだと思っています。

政権交代への 正念場

高橋 今日はお話を伺いまして、大きな政治課題を解決していくためには政治の大きな動きを作って、政権交代をしていくことが必要だということだったんですが、それを実現するために次回の総選挙がとても重要だと思うのですが、どういうふうに取り組んでいらっしゃるのでしょうか。

岡田 まず、何をいっても選挙に勝たなくてはなりません。私だけでなく、党としても勝たなければいけない。今、全力を挙げて全国を歩いているところです。民主党ができて10年、ようやくチャンスが巡ってきた、このチャンスを逃さずに頑張っていかなければならないと思っています。参議院で与野党が逆転して、その「ねじれ」を解消する最短の道は、民主党

が総選挙で勝つことです。次の選挙は正念場だと思っています。次の選挙で政権を取ることができても、それで終わりではなく、日本の政治が政権交代可能な政治になっていくことが大切なんですね。10年かけて民主党が政権をとって、10年間民主党が政権を取り続けるということではなく、また野党になり、もう一度与党になる。そうすれば、政権交代ある政治が日本に定着するだろうと思います。私としては長いスパンで考えていきたい。その中で自分の役割を、それぞれの局面において果たしていければと思っています。

一人ひとりの力で 新しい政治を!

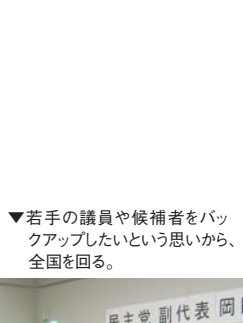
高橋 次の選挙で政権交代があるかどうか、政権が交代すれば日本がどう変わっていくのかということへの関心はとても高いと思います。そして民主党に対して、日本の政治をどう変えてくれるだろうと大きな期待を寄せています。私からの大きな政治の改革に向けて、皆さんへのメッセージをお願いします。

岡田 国民の皆さんは前回の参議院選挙で、やれば変わるんだ、実行すれば変わるんだという実感を持たれたと思います。この皆さんの期待にきちんと応えていくために、次の選挙で勝つために全力を尽くすつもりです。「どうせ変わらない、関心がない」という人も多いんです。しかし、政治は誰かが変えてくれるものではなく、ひとり一人が本気にならないと政治は変わりません。もう一息です。今の政治ではだめだという方は、一度政権を私たちに任せていただきたいと思っています。私たちが自信があります。ぜひ、任せていただきたい。私たちが投票すること、これが当り前だと思っていますが、これは先人が戦ってこられた権利なので、ぜひその権利を行使して、自らがこの国を変え、生活をより良くするための運動に参加していただきたい。われわれが不十分であれば、そのときは再度政権を変えていただければいいと思います。チャンスを与えていただかないと、政治は変わりません。次の総選挙で必ず勝利したいと思っています。

高橋 私も心から期待しております。ありがとうございました。



▲地元の人たちと身近に膝をつき合せて、皆さんの声を聞く座談会。昨年2月からすでに300会場を超える回数を重ねている。



▼若手の議員や候補者をバックアップしたいという思いから、全国を回る。



▲前回の参議院選挙では、候補者の応援に全国を東西奔走。



▼海外では、そこに住む人々の生活を見る。

INFORMATION



岡田かつやブログ「TALK-ABOUT」
katsuya.weblogs.jp
政治活動の他、思い出に残った本や映画、休日の過ごし方、車の運転など、岡田かつやのプライベートが満載!コメントも書き込めます!
*ブログとは定期的に更新されるインターネット上の日記ホームページ

民主党員員&サポーターを募集しています。

平成20年度の党員・サポーターの登録は新年より行ないます。継続の方、新規登録の方よろしくお願致します。
●年会費/党員 6,000円 サポーター 2,000円
●お問い合わせ先/TEL:059-361-6622

【ご連絡ください】

この会報は岡田かつや後援会ご入会の皆様及び関係企業・団体の皆様にお送りしています。お届けのご住所お名前前に誤りや変更がございましたら是非一報ください。また、ご家族や知人の方のこのような情報がありましたら名簿を訂正致しますので事務所まで(059-361-6633)ご連絡頂ければ幸いです。
*会員の個人名、ご住所等の個人情報は、個人情報保護法に基づいて安全管理に努め、岡田かつや後援会活動に利用させていただきます。